

令和4年度 第1回 西宮市環境計画推進パートナーシップ会議

日時：令和4年7月21日（木）10時～

場所：市役所第二庁舎6階601会議室にて開催

会議次第

1. 環境まちづくりフォーラムについて（協議）
2. 計画の中間見直しについて（協議）
3. 「プラスチック・スマート・アクションにのみや」の掲示・配布等状況について（報告）
4. その他報告事項
各種事業報告
5. 連絡事項

〈配布資料〉

【資料1】令和4年度環境まちづくりフォーラム（案）

【資料2】計画の中間見直しについて

【資料3】「プラスチック・スマート・アクションにのみや」の掲示・配布等状況について

【資料4】地球温暖化対策部会について

【資料5】令和3年度（2021年度）第2回PS会議（書面）に対する意見等

【資料6】令和3年度 環境学習事業の報告について

【資料7】エココミュニティ会議 活動状況（令和3年度実績）

西宮市環境計画推進パートナーシップ会議 メンバー一覧表 (R4年度)

選出分野	所属団体	役職名	氏名
市民関係	西宮市環境衛生協議会	会長	樋口 賢一
	西宮コミュニティ協会	専務理事	西明 直子
	社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会	副理事長	清水 明彦
	西宮市青少年愛護協議会	神原地区会長	平野 美恵子
	西宮市PTA協議会	会計	西井 美和
	甲東エココミュニティ会議	代表	山崎 由美
	公募市民		津高 絵美
	公募市民		足立 羽翼
事業所関係	西宮商工会議所	常務理事・事務局長	野島 比佐夫
	生活協同組合コープこうべ	マネジャー	藤井 智生
	西宮労働者福祉協議会	副会長	鈴木 暁
	日本盛株式会社	専務取締役	曾我 浩
専門家	関西学院大学(環境政策)	教授	佐山 浩
	神戸女学院大学(化学物質・水質汚濁・浄化)	教授	張野 宏也
	兵庫県立大学(植生・生態)	名誉教授	服部 保
	大阪産業大学(環境経済・環境教育)	教授	花田 真理子
	神戸大学(循環経済学)	名誉教授	石川 雅紀
	関西大学(環境都市工学)	教授	北詰 恵一
	大阪商業大学(都市政策・文化政策・地域経済)	教授	狭間 恵三子

(任期 令和5年3月31日まで)

◎会長・○副会長

令和 4 年度環境まちづくりフォーラム（案）について

日時：R5 年 2 月頃

開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン開催

時間：2～2.5 時間程度

内容：基調講演及び各団体による活動紹介

テーマ：地球温暖化対策

環境学習都市宣言 20 周年を見据えて

※出来るだけ 4 つの環境目標にまたがるようにする。

タイムスケジュール：

	内容	参加者	時間配分
1	開会あいさつ	市長あいさつ	5 分
2	講演	環境省職員や PS 会議等の学識経験者 etc	30 分
3	活動紹介	事業者×2 社（PS 会議の事業者 etc）	40 分（20 分×2）
4		市民×2 団体（エココミや学生の活動 etc）	40 分（20 分×2）
5	まとめ	PS 会議会長と講演者によるまとめ 各団体から一言	10 分
6	閉会あいさつ	PS 会議会長あいさつ	5 分

令和元年度 環境まちづくりフォーラム 開催結果報告

～これからの環境学習都市としての西宮～

■日 時：令和元年5月18日（土） 13:15 ～ 15:45

■場 所：西宮市役所東館8階大ホール

■参加者：95名（内訳）一般参加者 73名、出演者 8名、事務局・関係者 14名

■プログラム：

◆開会挨拶（13:15～）

田村 比佐雄 副市長

◆基調講演（13:20～）

「わたしたちを取り巻く環境の現状」

講師：兵庫県立大学 名誉教授 服部 保 氏

大阪産業大学 教授 花田 眞理子 氏

第1部の基調講演では、『私たちを取り巻く環境の現状』をテーマに、服部様には、「生物多様性と防災」の視点から、花田様には、「廃棄物と地球温暖化」の視点からご講演いただきました。

服部様には、人も含めて生物は「食う」、「食われる」、「寄生・共生」などの生物のつながりがなければ生きていくことはできず、他の生物への依存度が高い場合は、それを失うと生きていけないことから、「自分たちが生きていくために」生物多様性を守ることが必要であることや、「かつては普通種であったものが危惧種になり、身近なものとなっていること」、「西宮市では環境学習施設が6つもあり多様性保全の体制づくりが整っていること」、「西宮市では、生物多様性と防災・減災の視点とを一体化した考え方を実行に移してきたこと」などの現状をご紹介いただきました。

また、花田様には、「温暖化について、緩和策と適応策の紹介」、「3Rの優先順位付けが必要であり、リサイクルはエネルギーを大量に使用してしまうこと」、「西宮市では県に先駆けて2Rに力を入れていること」などの現状についてクイズを交えてご紹介いただきました。

その後、西宮市環境学習都市推進課の職員より、「第3次西宮市環境基本計画について」説明をしました。

◆第2部 パネルディスカッション (14:30 ~)

『地域に根ざした環境活動の推進』

【パネリスト】

- 樋口 賢一 氏 (西宮市環境衛生協議会 会長)
前田 文信 氏 (NPO 法人海浜の自然環境を守る会 理事長)
野島 比佐夫 氏 (西宮市商工会議所 常務理事)
花田 眞理子 氏 (大阪産業大学 教授)
服部 保 氏 (兵庫県立大学 名誉教授)
田村 比佐雄 氏 (西宮市副市長)

【コーディネーター】

- 小川 雅由 氏 (NPO 法人こども環境活動支援協会 常務理事)

第2部 パネルディスカッションでは、パネリストがそれぞれの立場で取り組んでいることを紹介いただいた後、「西宮市におけるこれまでの25年間」をテーマに、西宮市の環境基本計画について、第1次及び第2次計画策定について、市民・事業者・行政のそれぞれの立場で、議論してきたことで感じられたこととお話いただきました。その後、「生物多様性部会、廃棄物減量推進部会、エネルギー推進部会」等で議論された主要なポイントについて、「目標設定に苦労したことや、市民の方が積極的に政策提言をされていたこと」などを、お話いただきました。また、「次代に引き継ぐ地球環境と4つの環境目標の達成に向けて」をテーマに市民の立場、事業者の立場でそれぞれお話いただき、市民の立場では、「地域活動の一緒に参加し、体験してもらうことが、環境学習につながる」等の議論が交わされました。

最後に、田村副市長より、「今回策定した第3次西宮市環境基本計画は、初めて市民・事業者・行政のパートナーシップで作った計画であるため、行政としては環境基本計画に記載した内容について、しっかり取り組むとともに、ごみの問題、里山の問題といったものも含めて取り組んでいただくとともに引き続き、地域で活動されている方々にご協力をいただきたい。」と市としての決意を表明し、締めくくっていただきました。

◆閉会挨拶

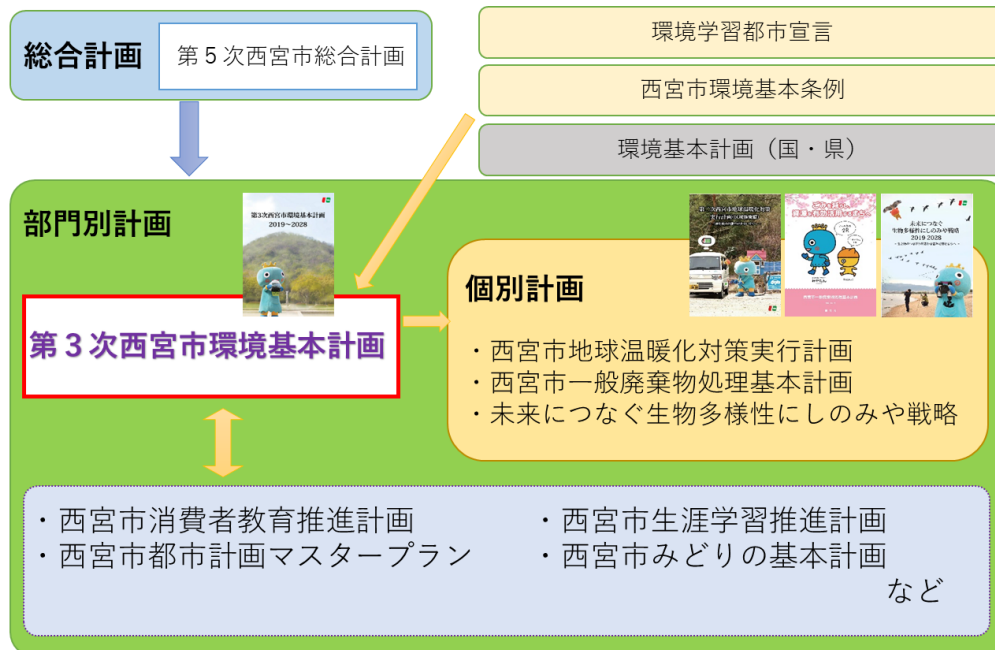
清水 明彦 氏 (社会福祉法人 西宮市社会福祉協議会 常務理事)

◆ポスター展示。

「平成30年度エコポスターコンクール入賞作品展」・・・小学3年生～中学3年生までを対象としたエコポスターコンクールで入賞した25作品を展示しました。

第 3 次西宮市環境基本計画及び各個別計画の中間見直しに向けて

1. 計画の位置づけ



第 3 次西宮市環境基本計画は、市の最上位計画である西宮市総合計画を環境政策面から支える環境行政の基本計画として位置づけられています。また、下位計画として、各環境分野を対象に、具体的な施策・行動計画を示した個別計画を策定しています。

2. 計画の期間



計画期間は、2019 年度（令和元年度）から 2028 年度（令和 10 年度）までの 10 年間で、来年度は、その中間の年度にあたり、社会情勢等を考慮し、必要に応じて計画の見直しを行うこととしています。

3. 中間見直しの方針

近年、国ではプラスチック資源循環促進法の成立、2050 年カーボンニュートラルの宣言などがあり、本市においても「2050 年ゼロカーボンシティ」等の表明や令和 4 年度からの生活系指定ごみ袋制度の導入など、環境を取り巻く状況が大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、今年度から来年度にかけて各部会において個別計画の見直しの検討を行い、それらを踏まえ基本計画の見直しについても検討していきます。

「プラスチック・スマート・アクションにのみや」の掲示・配布等状況について

(1) ポスター・リーフレットの配布状況について

①庁内各施設

各支所、サービスセンター、市民会館、公民館、児童館、市内の市立学校（小・中・高）、その他環境学習施設等を中心に配布。

ポスターA3サイズ	601部
リーフレット	2616部

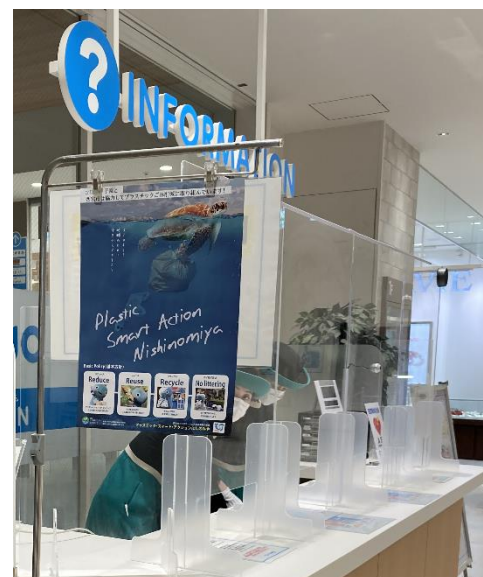
②外部（民間）等施設

大手前大学、武庫川女子大学、西宮商工会議所、生活協同組合コープこうべ、コロワ甲子園、西宮観光協会（西宮北口駅）等の各施設へ配布。

施設	ポスター	リーフレット
大手前大学	—	20部
武庫川女子大学	20部	200部
西宮商工会議所	1部	100部
生活協同組合コープこうべ（市内12店舗）	24部	30部
コロワ甲子園	3部	100部
西宮観光協会（西宮北口駅）	—	120部
西宮流（ららぽーと甲子園）	2部	30部



コロワ甲子園（駐車場）



コロワ甲子園（1階）

(2) デジタルサイネージの掲示状況について

掲示場所	掲示期間
J R西宮駅地下通路	4/1～6 月末
阪急西宮ガーデンズ	4/28～
阪神甲子園球場	5/10 (木) ～12 月末まで
阪神西宮駅おでかけ案内所前	4 月下旬頃～
コロワ甲子園	5/27(金)～



阪神甲子園球場



コロワ甲子園

(3) その他

阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献活動の一環として阪急電鉄及び阪神電気鉄道で実施している「SDGs トレイン未来のゆめ・まち号」の車内にて掲示（掲示期間 4 月 1 日～ 5 月末頃まで）



阪急電車車内（SDGs トレイン用デザイン）

令和 3 年度地球温暖化対策関連事業 (環境学習都市推進課で実施したもの)

1. エコ・エネルギーシステム導入促進補助事業 (R3.7.1~R3.11.19)

(当初予算額 : 1,200 万円 R3.11.19 に予算額に達したため、早期終了)

補助対象機器		補助金額	件数
エネファーム (家庭用燃料電池)		40,000 円	191 件
蓄電池	太陽光発電設備既設	50,000 円	58 件
	太陽光発電設備新設 (蓄電池と同時設置)	100,000 円	30 件

2. 省エネチャレンジ事業

- 地球温暖化の問題や省エネルギーに市民自ら自主的にチャレンジしてもらうことにより、家庭で身近な環境問題について考える機会を作り、環境意識の向上及びライフスタイルの転換につなげてもらう。
- 省エネ設備の導入促進のため、期間中に対象家電へ買い替えて応募された方に抽選で Q U O カードを進呈。また、省エネアンケートに答えた方に先着順でオリジナルマイボトルを、省エネを実践し電気使用量の削減を達成できた方に抽選で Q U O カードを進呈。
- 643 件の応募あり。

3. N A T S による「地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定」に基づく連携

- 近隣中核市 (N (西宮市) A (尼崎市) T (豊中市) S (吹田市)) と連携し、担当者会議の定期開催、再生可能エネルギーに関する普及啓発動画を作成した。

4. 公共施設の LED 化の推進

- 公共施設の計画的な L E D 化を推進するため、ロードマップを作成。

5. その他

- 鳴尾図書館で実施されるブックフェアで、温暖化関連の書籍を紹介いただくとともに、図書館入口に学習パネルを設置した。(R3.8 月~9 月)
- 大手前大学と連携して地球温暖化防止啓発冊子を作成した。

令和4年度地球温暖化対策に係る主な事業

1. 西宮市戸建住宅Z E H化及び断熱リフォーム促進補助事業

市域における再生可能エネルギーの普及や省エネルギーの推進を目的とし、国の補助事業を委託する団体が実施する「Z E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」支援事業及び高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業の補助を受けた戸建て住宅への補助を行う。

2. にしのみや省エネチャレンジ事業2022

- 省エネ設備の導入促進のため、冷蔵庫などの家電製品の省エネ型への買替に対して、5,000円相当のQUOカードP a yを進呈する。
- うちエコ診断を受診し、受診結果を添付して応募した方にオリジナルデザインのマイボトルかQUOカードP a yを進呈する。

3. 市内の大学と連携して地球温暖化啓発アニメーションを作成

ゼロカーボン・地球温暖化啓発アニメーションを大手前大学と連携し、主に小学生を対象とした内容で動画を作成する。

4. 西宮市脱炭素社会に向けたロードマップの策定

2050年までの脱炭素社会を見据えて、市域の再生可能エネルギーポテンシャルの把握及び活用方法の検討や市公共施設の再生可能エネルギー導入ポテンシャルの調査を行い、再生可能エネルギー導入目標を設定し、脱炭素社会実現に向けたロードマップを策定する。

5. N A T Sによる「地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定」に基づく連携

昨年度に引き続き、近隣中核市（N A T S）と連携し、担当者会議の定期的に行い、共同での事業開催について検討する。

6. 太陽光発電及び蓄電池設備の共同購入事業

再生可能エネルギーの普及拡大を目指し、神戸市、伊丹市、尼崎市、芦屋市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町と本市の9自治体が支援事業者（アイチューザー株式会社）と連携して、本事業を実施。

番号	章（頁番号）	項目	区分	委員の意見等	回答	担当
1	[資料1-1]	6	質問	リサイクル率が下がった理由として紙の回収量が減少しているためと記載している。[資料4-1]ではリサイクル量は減少しているが、リサイクル率は増加しているのではないかと。	基準年度（平成28年度）比からみて、リサイクル量、率ともに減少しているという意味になります。以後、分かり易い表現に努めます。	美化企画課
2	[資料1-1]	3	感想	消費者は便利さや安全性、コストを考える人が多い。市民・行政・事業者が共に考える参画と協働の環境学習が改めて必要。		環境学習都市推進課・美化企画課
3	[資料1-1]	7	感想	生産緑地の問題で、身近な自然から子供が学べるために、市が生産緑地の維持や公園としての活用を検討しているということを知り、市民として安心した。		花と緑の課
4	[資料1-1]	9	感想	エココミュニティ会議の記述があるが、会議の有無に関わらずEWCの活動をしているところも多い。また、活動報告書を見て、コロナ禍の中、様々な地域団体と活動しているなど参考になった。		環境学習都市推進課（学習T）
5	[資料1-1]	9	意見	エココミュニティ会議の記述があるが、設置要綱では、基本的に中学校区で設置となっており、既に市内全域でほぼ設置されていると思われる。会議数について目標と現状の乖離があるのか、また目標数があるのであればそれを明記する、或いは設置空白地帯等があるのであれば地図に落とすなどの工夫が必要ではないか。	ご指摘いただいた点を踏まえ、以後、分かり易い記載内容に努めます。	環境学習都市推進課（学習T）
6	[資料1-2]	2	意見	「資料1-2」の目標のうち、「1.低炭素」と「2.資源循環」の【今後の展開】については、制度を通じた社会変革が必要と考える。例えば低炭素型ライフスタイルへの転換は、転換を推進する制度が必要であり、生活系ごみや事業系ごみの削減も同様である。また、啓発や情報提供は必要なことだが、それに加えて、取り組みを進めるような制度設計や施設・設備を増やしていくことも必要ではないか。	低炭素については、[資料3-2]の「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）目標設定に伴う見直しの概要5/5」で、行政としての二酸化炭素排出量の削減に向けた施策として、6つの推進方針を掲げ、制度設計を行いました。いただいたご意見は、引き続き、中間見直しにおいても、検討していきます。 また、一般廃棄物処理基本計画についても基本方針に沿った計画目標の達成に向けての中間見直しや処理施設の更新において、環境負荷の低減、災害発生時においても継続して処理ができるような強靱な処理施設の整備に留意し、計画します。	環境学習都市推進課・美化企画課
7	[資料1-2]	2	意見	「資料1-2」の目標のうち、「3.生物多様性」の【今後の展開】では、OCeM※1による保全も重要ではないか。 ※1 保護地域ではないが、効果的な保全が行われている場のこと。	いただいたご意見は、今後の生物多様性の施策を推進する際に、検討させていただきます。 ※OCeM...保護地域ではないが、効果的な保全が行われている場のこと。	花と緑の課
8	[資料1-2]	2	質問	「資料1-2」の「1.低炭素」の部門別の「温室効果ガス排出量」の表で、平成30年度の温室効果ガス排出量は、基準年度に比べ△16%であるが、部門別でみると産業部門以外はすべて増加している。各部門毎に目標値を設定することで、対策までプレイクダウンしやすいと思われる。	[資料3-2]の「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）目標設定に伴う見直しの概要3/5」で、各部門ごとの2028年度時点の目標については、2013年度比で35%の削減目標を掲げており、削減に向けた取り組みについても記載しています。	環境学習都市推進課（エネT）
9	[資料1-2]	2	意見	「資料1-2」の目標のうち、「1.低炭素」の【今後の展開】について、「二酸化炭素の排出の少ないライフスタイルへの転換」を挙げているが、暑熱環境が悪化している状況下での冷房による熱中症回避、アフターコロナにおけるリモートワーク率の向上による分散型エネルギー消費などの課題があり、「環境変化に応じた新しいライフスタイル」が模索されていると考える。	アフターコロナの社会状況については、まだ不透明であり、今後、国や他自治体の動向も注視しつつ、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを進めていきます。	環境学習都市推進課（計画、エネ）
10	[資料1-2] [資料1-3]	2	意見	「資料1-2」、「資料1-3」で環境目標として、「1.低炭素」～「4.安全・快適」を掲げているが、これらの目標ごとのつながりを示すことで、市民の方々は協力しやすくなると思われる。また、「1.低炭素」の【今後の展開】について、重要な部分をもう少し具体的に記載すれば、よりわかりやすくなるのではないかと。	環境目標のつながりについては、「第3次西宮市環境基本計画」では、コラムとして「環境目標と行動目標のつながり」のところで、記載していますが、環境報告書でも、今後、記載することを検討していきます。 低炭素の今後の展開については、現時点では、太陽光発電設備や蓄電池の導入拡大を推進しているが、今後の国や社会情勢の変化も踏まえて、どのような再生可能エネルギーを導入していくか検討していきます。	環境学習都市推進課（計画、エネ）
11	[資料1-3]	7、8	意見	「資料1-3」環境報告書7、8ページにSDGsのことが書かれており、8ページにまとめて「関連するゴール」が書かれているが、環境学習都市宣言を行っている市でもあり、個々の事業(事業分野)ごとに、計画や報告書において、該当するゴールを明記してもよいのではないかと。	「第3次西宮市環境基本計画」では、SDGsの該当するゴールについて環境目標に対応するように紐づけています。今後、中間見直しにおいて、個々の事業とSDGsのゴールの紐づけについて、検討していきます。	環境学習都市推進課（計画）
12	[資料2-2]	-	感想	「プラスチック・スマート・アクションにのみや」のポスター、リーフレットはわかりやすい。当団体としても、リーフレットの配付協力をしたと考えている。		環境学習都市推進課・美化企画課
13	[資料2-2]	-	感想	「プラスチック・スマート・アクションにのみや」の活動が進む中で、協力された事業者の紹介や市民活動紹介など、さまざまな取り組みを市ホームページで取り上げる等、より活動を広げる工夫を期待している。		環境学習都市推進課・美化企画課

番号	章(頁番号)	項目	区分	委員の意見等	回答	担当
14	[資料2-2]	-	意見	「プラスチック・スマート・アクションにのみや」について、市内の大学や学校園など、若い世代に周知し、取り組みを進めていくことで、将来的に良い結果となるのではないか。	いただいたご意見は、今後の活動を推進していく中で、検討していきます。	環境学習都市推進課・美化企画課
15	[資料2-2]	-	意見	「プラスチック・スマート・アクションにのみや」で給水スポットの整備の記載があるが、費用対効果があるのか危惧される。水の安全性をアピールし、より活用していただく方策を考える必要があるのではないか。	上下水道局と連携し、活用拡大に向けた施策を検討していきます。	環境学習都市推進課・美化企画課
16	[資料2-2]	-	意見	「プラスチック・スマート・アクションにのみや」のリーフレットで、市民の役割が記載されているが、市民の中にも、年代や家庭での役割によって、ステークホルダーが異なる。より細分化した設定が望ましい。	いただいたご意見は、今後の活動を推進していく中で、検討していきます。	環境学習都市推進課(計画T、学習T)
17	[資料2-2]	-	意見	「プラスチック・スマート・アクションにのみや」は、今後、必要な取り組みだと思う。市民向けの啓発イベント(映画上映や講演会など)を事業者と市で共催で実施できればよいのではないか。	いただいたご意見は、今後の活動を推進していく中で、検討していきます。	環境学習都市推進課・美化企画課
18	[資料2-2]	-	意見	「プラスチック・スマート・アクションにのみや」について、市民はマイバッグなどを持参しているが、スーパーの野菜パックがレジで回収してもらえたら良いと思う。また、市で行われる諸団体の会議においても、ペットボトル飲料の提供は廃止にしてもよいのではないか。	ご意見の内容も含め、市内事業者に対して、プラスチックごみ削減に向けた啓発を行います。 なお、西宮市では、令和2年度に「市役所のプラスチックごみの削減に向けた取組方針」を策定し、市で行われる会議においては、出席者へのペットボトルなどワンウェイのプラスチック製容器包装の提供を原則禁止としています。	環境学習都市推進課・事業系廃棄物対策課
19	[資料2-2]	-	意見	「プラスチック・スマート・アクションにのみや」の策定は、海洋プラスチックをきっかけに注目が高まった背景があるが、製造→購買→利用→回収→リサイクルの流れに乗っている限りは問題が小さいため、「ポイ捨て」などの管理できない状況によるプラスチックの拡散が大きな問題となっているのではないか。	本市では、地域の清掃活動や個人でゴミ拾いができるアプリ「ピリカ」を導入しており、海へ流れ込むプラスチックごみの削減に向けて参加者の拡大を図っていきます。	環境学習都市推進課・美化企画課
20	[資料3-2]	2/5	意見	「市民・事業者の意識-第3章関係-」では、事業者の脱炭素社会に向けた認識不足に対する働きかけが必要と感じる。また、「西宮市の特性」にコミュニティバスの運行があるが、バスの自動運転・非化石燃料化の検討をはいかがでしょうか。	いただいたご意見は、中間見直しの際に、検討させていただきます。	環境学習都市推進課(エネ)
21	[資料3-2]	5/5	意見	第8章関係の「六つの推進方針」では、市民、事業者に対して具体的な働きかけが必要ではないかと思う。また、「3.自然豊かで環境負荷の少ない都市基盤の整備」にOECM(ビオトープなどの生物多様性の域内保全)の視点を取り入れること、「5.これからの地球温暖化対策を推進する地域活動の活性化とひとづくり」では、市内の大学との連携を進めることを検討してはどうか。	いただいたご意見は、中間見直しの際に、検討させていただきます。	環境学習都市推進課(エネ)
22	[資料3-2]	5/5	意見	第8章関係の「推進方針1」の省エネ行動モニター事業の記載について、取り組みは一過性のものでなく、IoTやAIなどの技術も応用し、持続可能な取り組みであるという内容の文章が望ましい。	いただいたご意見は、中間見直しの際に、検討させていただきます。	環境学習都市推進課(エネ)
23	[資料3-3]	-	意見	実際の市民の意識は、喫緊の環境問題の現状に意識が追いついていないという声を受け止め、市として環境施策を展開していく必要があるのではないか。	いただいたご意見は、中間見直しの際に、検討させていただきます。	環境学習都市推進課(エネ)
24	[資料4-2]	-	意見	令和2年度のごみ組成分析結果について、燃やすごみとして出された中に、「リサイクルできるもの」の割合が増えたのが残念である。事業系ごみでは、「古紙」が増えているが、古紙はリサイクルされていると考えていいのか。	事業系ごみの組成分析については、例年、3業種の分析結果の平均値をお示ししています。各業種の分析は1回ずつであるため分析の精度は決して高いものとはいえ、分析時に使用する検体の状態によって数値の変動幅が大きくなることは否定はできません。依然として資源化が可能な古紙類や本来、産業廃棄物である廃プラ等が混入し続けているため、今後も引き続き事業者に対する周知啓発に努め、事業系ごみの減量及び適正処理を推進していきます。	美化企画課
25	[資料4-3]	-	意見	指定袋制度の周知啓発状況について、指定袋制度の導入を啓発の好機と捉え、積極的に説明会を展開して欲しい。	「その他プラスチック製容器包装」の分別収集時には、市民向け説明会を年間500回以上開催した実績があり、今回も同様の手法で開催しています。今後も引き続き、様々な広報媒体を活用しながら周知啓発に努めてまいります。	美化企画課
26	[資料4-3]	-	感想	指定袋制度の周知啓発状況について、説明会に参加したが、時間帯や土日なども考慮されPR動画もわかりやすく好評だった。開催後は、分別やその他プラごみの見分け方などが話題になり、住民同士で身近なごみ問題について考えあう良い機会となった。行政による市民一人ひとりに向けての周知啓発と同時に、自治会や各諸団体での周知が必要だと実感した。		美化企画課

番号	章(頁番号)	項目	区分	委員の意見等	回答	担当
27	[資料4-3]	-	意見	指定袋制度の周知啓発状況について、所属している団体としては、コロナ禍で市民への周知不足で、不安な面はあるが、地域の「ごみ減量推進員」により、浸透を図っている状況である。現在販売店が大手の量販店のみであり、無関心者や従わない人も当初発生すると思われるが、予定通り4月から実施すべきである。 尚、3月下旬に市内全所帯への指定袋配布は、費用対効果の面で必要ではないのではないか。	市内のスーパーやコンビニ等に対し、12月から1月頃より販売を開始して欲しいと依頼しているが、現時点において取り扱い店舗が非常に少ない状況である。指定袋は主に中国等の国外工場で製造されており、新型コロナ禍の影響により製造や物流に遅れが生じている状況に於ける。このまま予定通り4月から指定袋制度を実施した場合、ごみ袋を購入しなくても購入できない可能性が懸念されるため、経過措置期間を設けるかどうか検討中です。令和3年3月の条例改正後、複数回に渡って市政ニュースにて指定袋制度が始まることを周知してきたが、まだまだ制度が始まることを知らない市民がおられることから、制度開始前の最後の広報として、サンプルの全戸配布を実施するものです。	美化企画課
28	[資料5]	-	意見	生物多様性推進部会の開催結果について、市民自然調査の機会を活かして、自然共生社会の構築を進めて欲しい。また、生物多様性では、「海」関連も調査していただきたい。	市民自然調査については、10年に一度ということで自然環境保全の啓発も兼ねて実施します。その中で自然共生社会の意識醸成も図ってまいります。海関連の調査についてですが、①港湾管理者が県であること、②市民協働で実施するには、海に直接関わる活動が難しいこと、③海に直接関わる事業（水質の検査や浄化の実証実験など）については実施に多額の費用が見込まれることの3点を踏まえ、市としては現在のところ直接海に関わる調査などは予定しておらず、実際に取り組み可能な事業として海浜（砂浜や海浜植物など）の保全に関する取り組みを進めています。ご理解いただきますようお願いいたします。	花と緑の課
29	[資料5]	-	感想	生物多様性推進部会の開催結果について、ナラ枯れの被害経過観察の必要はあるが減少傾向にあるのは望ましい。		花と緑の課
30	[資料5]	-	感想	生物多様性推進部会の開催結果について、里山の利用・整備は自然が豊かな西宮にとっては防災の観点からも重要であり、レクリエーション的な要素を入れながら参加することができれば、週末のリフレッシュできる場としての価値もあると考える。		花と緑の課
31	[その他]	-	意見	コロナ禍から回復後に、スムーズに市民協働の活動が復活するためにも、より一層各会議間の情報共有などを進めてほしい。	いただいたご意見は、中間見直しの際に、検討させていただきます。	環境学習都市推進課
32	[その他]	-	感想	指定ごみ袋制度について、様々な市民への周知・啓発活動をしているが、目的についてきちんと理解してもらうことで、環境問題への意識高揚につながることを期待している。		美化企画課
33	[その他]	-	感想	全体を通して、西宮市は環境施策に頑張っている印象を受けた。		環境学習都市推進課
34	[その他]	-	意見	生活系指定ごみ袋制度がスタートすることをきっかけに市民の意識が変わり、西宮市としての課題である家庭部門の温室効果ガスの排出割合が減るかもしれない。自分ごととして考え、無理せずにライフスタイルを転換していくことが重要だと考える。	いただいたご意見は、今後の活動を推進していく中で、検討していきます。	環境学習都市推進課

令和3年度 環境学習事業の報告について

(1) EWC事業（エコアクション手帳・環境パネル展）

コロナ禍である現状を踏まえて、令和3年度は、家庭と学校内で取り組み、活用する「エコアクション手帳～エコカード特別版～」を市内公立小学校の全児童へ配布しました（市民活動カードの配布は中止）。

また、令和4年2月には、環境に関する1年間の取り組みを発表する催しとして「EWC環境パネル展」を開催し、同パネル展の中で、エコアクション手帳と連動させた企画展示やEWC事業の30周年を記念した特別展示を行いました。

※EWCとは、「地球ウォッチングクラブ・にしのみや」の英語表記“Earth Watching Club”の頭文字を取ったもので、学校や地域など日常の様々な場面で環境学習を行った際にスタンプが押してもらえるエコカード・エコスタンプシステムを中心に、子供の発達段階に応じて自主的・継続的・総合的に環境活動に関わることのできる西宮独自の環境学習システムです。1992年にスタートし、環境省実施の全国事業「こどもエコクラブ事業」のモデルにもなりました。

◇令和3年度「エコアクション手帳～エコカード特別版～」の概要

- ・A5サイズのリーフレットで、テーマは、自然、いきもの、地球温暖化、プラスチックごみ問題など。
- ・対象は小学校1～6年生で、それぞれの発達段階に応じた6種類。
- ・先生からエコスタンプを押印してもらえる「学校で」の覧、児童自身が取り組んだ後にサインを行う「自分で」の覧を設定。
- ・エコスタンプまたはサインを一定数以上集めた児童をアースレンジャーなどに認定。
- ・学校配布の「タブレット端末」等を活用することで、内容がより深まるような課題を設定。



・令和3年度 認定状況

- ◆アースレンジャー 認定者数 **2,111人**
- ◆アースレンジャー+（プラス） 認定者数 **962人**
- ◆アースレンジャー6 認定者数 **98人**（6年間毎年アースレンジャーになった児童）
- ◆アースレンジャーファミリー 認定者数 **501人**

※例年実施しているEWCサブシステム（児童の発達段階に応じて視野が広がっていく仕組み）の「エコメッセンジャー」と「エコトレード」は中止。

◇令和3年度「EWC環境パネル展」の開催報告

環境に関する1年間の取り組みを発表する催しとして「EWC環境パネル展」を開催。市民や事業者の一年間の活動発表や作品の展示に加えて、エコアクション手帳と連動させた企画展示やEWC事業の30周年を記念した特別展示なども実施（例年実施している表彰式は、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年度は実施せず。）

- ◆開催期間 2022年2月9日（水）～20日（日）
- ◆来場者数 1,698名
- ◆出展数 519点（審査対象：231点）
- ◆出展者数 1,094名
- ◆入選点数 29点（地球にやさしいで賞（市長賞）：4点、各共催団体賞：5団体×各5点）



出展作品



EWC 30周年特別展示

◇令和4年度「EWCエコカード2022」の配布

地域でのエコスタンプの押印を再開させたことに伴い、従来のスタンプカードの仕様に戻すこととし、「EWCエコカード2022」として配布を行いました（家庭やお店で、地球にやさしい買い物をした場合などは自分でサインするなど、一部変更あり）。また、市民活動カードについても配布を再開。



↑【EWCエコカード】

小学生を対象に、環境学習や活動に参加すれば「EWCエコカード」に「エコスタンプ」を押してもらえたり、自分でサインし、一定数のスタンプ又はサインが集まれば「アースレンジャー」に認定される仕組みのカード。

←【市民活動カード】

市内在住、在学、在勤の中学生以上を対象としており、環境活動のみならず、福祉、人権、平和などの講演会や地域における様々な活動に参加したときに、「エコスタンプ」を押してもらえたり、自分でサインを行うことができる大人版のエコカード。

(2) 環境学習支援

公立の幼稚園や保育所、小学校等が環境学習に取り組む際に、講師派遣や教材提供などのサポートを実施しました。令和3年度は、次のとおり74件（幼稚園9件、保育所20件、小学校45件）のサポートを実施しました。



<幼稚園>

	対象	実施日	内容
1	上ヶ原幼稚園	5月25日	園庭 自然観察
2	南甲子園幼稚園	6月9日	甲子園浜 生きもの観察
3	浜脇幼稚園	6月22日	御前浜 生き物観察
4	夙川幼稚園	6月30日	夙川 生き物観察
5	あおぞら幼稚園	7月2日	東川 生き物観察
6	上ヶ原幼稚園	10月19日	甲山 自然観察
7	越木岩幼稚園	10月22日	豊楽公園自然観察
8	門戸幼稚園	10月26日	中谷公園 他 自然観察
9	南甲子園幼稚園	11月2日	今津浜公園 自然観察

<保育所>

	対象	実施日	内容
1	鳴尾北保育所	5月26日	野菜苗の植え付け
2	瓦木みのり保育所	5月26日	野菜苗の植え付け
3	朝日愛児館	5月28日	野菜苗の植え付け
4	浜脇保育所	6月1日	野菜苗の植え付け
5	高須西保育所	6月1日	野菜苗の植え付け
6	用海保育所	6月1日	野菜苗の植え付け
7	津門保育所	6月2日	野菜苗の植え付け
8	芦原むつみ保育所	6月2日	野菜苗の植え付け
9	今津文協保育所	6月4日	野菜苗の植え付け
10	建石保育所	6月7日	野菜苗の植え付け
11	上之町保育所	6月7日	野菜苗の植え付け
12	北夙川保育所	6月7日	野菜苗の植え付け
13	鳴尾東保育所	6月8日	野菜苗の植え付け
14	浜甲子園保育所	6月8日	野菜苗の植え付け
15	浜甲子園保育所	6月18日	野菜苗の植え付け
16	甲東北保育所	10月25日	仁川 生き物観察(昆虫)
17	建石保育所	11月5日	夙川・森具公園 自然観察
18	鳴尾東保育所	11月25日	野菜苗の植え付け
19	小松朝日保育所	11月29日	野菜苗の植え付け
20	用海保育所	12月3日	野菜苗の植え付け

<小学校>

	対象	実施日	内容
1	甲陽園小学校 特別支援学級	5月6日	野菜苗の植え付け
2	甲陽園小学校 特別支援学級	5月24日	野菜の植え付け
3	平木小学校 4年生	5月25日	野菜の植え付け
4	津門小学校 3年生	5月25日	お話「甲子園浜の生きもの」
5	深津小学校 3年生	6月1日	お話「甲子園浜の生きもの」
6	大社小学校 3年生	6月1日	お話「夙川の生きもの」
7	甲子園浜小学校 3年生	6月3日	お話「甲子園浜の生きもの」
8	高木北小学校 3年生	6月16日	お話「甲子園浜の生きもの」
9	苦楽園小学校 3年生	6月17日	お話「夙川の生きもの」
10	高須小学校 1.2年生	6月17日	野菜の植え付け
11	南甲子園小学校 3年生	6月16日	お話「甲子園浜の生きもの」
12	鳴尾北小学校 3年生	6月18日	お話「甲子園浜の生きもの」

13	段上小学校 3 年生	6 月 21 日	お話「甲子園浜の生きもの」
14	神原小学校 3 年生	6 月 24 日	お話「夙川の生きもの」
15	高木小学校 3 年生	6 月 25 日	お話「甲子園浜の生きもの」
16	北夙川小学校 3 年生	7 月 7 日	お話「夙川の生きもの」
17	平木小学校 3 年生	7 月 7 日	お話「甲子園浜の生きもの」
18	平木小学校 3 年生	7 月 9 日	甲子園浜の自然観察
19	春風小学校 3 年生	9 月 15 日	お話「甲子園浜の生きもの」
20	上ヶ原小学校 3 年生	9 月 16 日	お話「仁川の生きもの」
21	瓦林小学校 3 年生	9 月 17 日	お話「甲子園浜の生きもの」
22	生瀬小学校 3 年生	9 月 21 日	お話「甲子園浜の生きもの」
23	夙川小学校 3 年生	9 月 27 日	お話「夙川の生きもの」
24	段上西小学校 3 年生	9 月 28 日	お話「仁川の生きもの」
25	東山台小学校 3 年生	9 月 29 日	お話「甲子園浜の生きもの」
26	甲陽園小学校 3 年生	9 月 30 日	お話「夙川の生きもの」
27	高須西小学校 3 年生	10 月 7 日	お話「甲子園浜の生きもの」
28	あすなろ学級なるおきた	10 月 7 日	稲刈り・脱穀など
29	平木小学校 2 年生	10 月 8 日	夙川 生きもの観察
30	瓦木小学校 3 年生	10 月 8 日	お話「武庫川の自然」
31	用海小学校 3 年生	10 月 12 日	お話「御前浜の生きもの」
32	瓦木小学校 3 年生	10 月 29 日	お話「甲山の自然」
33	樋ノ口小学校 2 年生	11 月 4 日	広田山公園自然観察
34	小松小学校 3 年生	11 月 17 日	お話「武庫川の自然」
35	段上西小学校 3 年生	1 月 12 日	お話「御前浜のとり」
36	用海小学校 3 年生	1 月 18 日	お話「御前浜のとり」
37	甲子園浜小学校 3 年生	3 月 3 日	お話「甲子園浜のとり」

< 小学校 自然学校推進事業（5 年生） >

	対象	実施日	内容
1	名塩小学校	6 月 24 日	校庭 火おこし・野外炊飯
2	甲陽園小学校	9 月 13 日	夙川謎解きウォーク、生き物観察
3	甲陽園小学校	9 月 14 日	校内 エコクラフト、火おこし
4	神原小学校	10 月 11 日	夙川ポイントラリー、生き物観察
5	高木北小学校	11 月 19 日	火起こし・焼きいも
6	北夙川小学校	11 月 22 日	火起こし・焼きいも
7	上甲子園小学校	12 月 21 日	稲わらリースづくり
8	平木小学校	1 月 19 日	焼きいも

(3) 環境ポスターコンクール

市内の小学生（3～6年生）および中学生を対象に「ごみ減量・リサイクル」、「まちの美化・ポイ捨て防止」、「地球温暖化」、「生物多様性」などの環境問題をテーマとしたポスターを募集し、優秀な作品を本庁舎1階の情報掲示コーナーや環境学習施設に掲示したほか、公用車のボディステッカーとして採用し、環境啓発のツールとして活用しました。

なお、例年、開催している表彰式および市民ギャラリーでの展覧会については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。

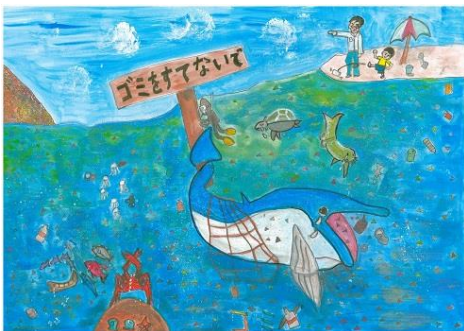
審査会

小中学校の美術教員および地域団体代表者による審査会を次のとおり実施し、応募数4,085点の中から、市長賞、後援団体賞及び優秀賞 合計116作品を選出いただきました。

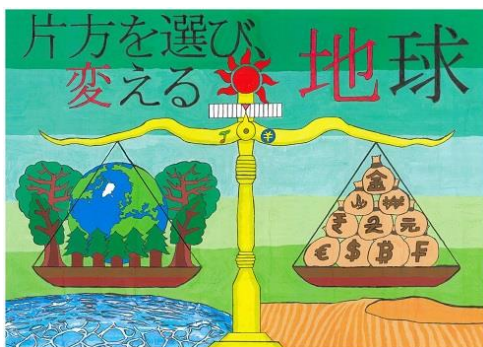
- ・小学生の部：9月16日（木）
- ・中学生の部：9月15日（水）、9月16日（木）

受賞作品（抜粋）

（小学生作品）



（中学生作品）



(4) 環境学習にしのみやパートナーシッププログラム

事業者や地域団体等から、環境目標（低炭素・資源循環・生物多様性・安全快適）の実現に向けた環境学習プログラムの提案などを募り、次の16件を「環境学習にしのみやパートナーシッププログラム」として認定を行い、市の広報媒体への掲載や環境学習施設を会場として提供するなどのサポートを行いました。



	団体（企業）	環境目標	イベント名
1	伊藤ハム株式会社	生物多様性	クリーンアップ in 甲子園浜
2	西宮観光協会	生物多様性	みやたんハウスリニューアル事業 (こどもペンキ塗り体験等)
3	NPO 法人 こども環境活動支援協会	生物多様性	こども農業塾
4	NPO 法人 海浜の自然環境を守る会	生物多様性	こうしえん浜の自然環境保全のための 普及啓発事業と環境学習
5	神戸女学院大学	安全快適	地域創りリーダー養成プログラム (授業名：地域活性化総合実習)
6	にしのみやを農すプロジェクト 実行委員会	資源循環	にしのみやノーマルシェ ～繋がる小さな経済圏 お気に入りを探そう～

7	浜・川・山の自然たんけん隊	生物多様性	御前浜・香櫛園浜等での生物多様性プログラム
8	武庫川流域圏ネットワーク	生物多様性	・武庫川河川敷お掃除会 (特定外来種オオキンケイギクの駆除) ・武庫川流域圏ネットワーク活動報告会 ・津門川の水質汚染被害からの自然回復を求めて
9	関西学院大学栗田研究会 Moribito	生物多様性	Nature to Future 2021
10	日本山村硝子株式会社	低炭素	「SDGs とメーカーの取り組み」 オンライン講義実施
11	にしのみやを農すプロジェクト 実行委員会	資源循環	にしのみやノーマルシェ ～繋がる小さな経済圏 お気に入りを探そう～
12	西宮ホワイトライオンズ クラブ	安全快適	西宮ホワイトライオンズクラブ 結成 20 周年記念事業 環境・防災講演会
13	一般社団法人日本 ヴィーガン協会	低炭素	ヴィーガンフェス「環境保全と食」
14	NPO 法人 こども環境活動支援協会	生物多様性	農とくらしのミライ塾
15	生活協同組合コープこうべ 第 2 地区本部	生物多様性	生物多様性、環境保全、省エネ、ゴミ削減、食等に 関する多世代参加型イベント
16	NPO 法人 こども環境活動支援協会	生物多様性	乳幼児を持つ家族対象子育て支援事業 「こそだてファームらんど・甲山」

エココミュニティ会議 活動状況（令和3年度実績①）

資料7

令和4年6月末日現在

地区名	エリア	発足年月	構成人数	構成団体	活動内容	備考	
1	学文	鳴尾北・小松小学校区	2006年3月	約20名	コミュニティ協会 環境衛生協議会 社会福祉協議会 自治会、子ども会 公民館活動推進員 鳴尾北小学校 小松小学校 学文中学校 地域事業者 等	<ul style="list-style-type: none"> ●マイバッグ持参運動の取り組み（回覧チラシ・店内放送・のぼり及びポスター掲示による呼びかけ） ●中学生が作成したマイバッグの地域店舗内での貸し出し ●「学文フレイバーク」での啓発ブースの設置【中止】 	令和4年度 補助金申請：○
2	浜脇・香櫨園	浜脇中学校区	2006年12月	約10名	環境衛生協議会 社会福祉協議会 自治会、婦人会 青少年愛護協議会 地域事業者 浜脇児童館 等	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者主催の「防災士講演会」への協力 ●浜脇児童館・西宮市貝類館と協働での「貝をつかったミニチュアアートづくり」の実施 ●西宮・浜脇のふるさとづくり『「えびすかき」から「人形浄瑠璃」へ』の支援 ●環境活動だよりを作成・配布 	令和4年度 補助金申請：○
3	塩瀬	塩瀬支所管区	2007年2月	約15名	自治会、町会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●名塩川周辺でのホタル調査 ●カワナ調査【中止】 ●ホタル勉強会（観賞会）【中止】 	令和4年度 補助金申請：○
4	甲東	甲東コミュニティ委員会エリア	2007年2月	約20名	コミュニティ協会 環境衛生協議会 青少年愛護協議会 ごみ減量等推進員 地域事業者 等	<ul style="list-style-type: none"> ●ごみ減量キャンペーン（ポスター等を自治会へ配布、掲示） ●ごみ減量等推進員による研修会 ●「指定袋導入」に関する学習会 ●地域情報誌「宮っ子」への記事投稿 ●エコユースの作成、配布 ●地域の中学生との協働による夏祭りでのゴミ分別指導【中止】 	令和4年度 補助金申請：○
5	春風	春風小学校区	2007年10月	約15名	環境衛生協議会 社会福祉協議会 青少年愛護協議会 子ども会、PTA 民生・児童委員 等	<ul style="list-style-type: none"> ●春風小学校3年生 自然体験活動「甲子園浜生き物探し」の支援 ●春風小学校6年生 花の寄せ植え支援 ●マイバッグ持参率向上キャンペーン（チラシ作成、配布） ●上甲子園中学校の花植えを支援 ●しめ縄作り教室 ●自然素材で作るエコクラフト教室 	令和4年度 補助金申請：○
6	平木	平木小学校区	2008年1月	約15名	環境衛生協議会 青少年愛護協議会 PTA、児童館 平木小学校 平木中学校 児童館 等	<ul style="list-style-type: none"> ●平木小学校渡り廊下への「グリーンカーテン」の設置 ※収穫物を調理する「ひらきエコミッキング」は中止。 ●コンポストの作成 ●夏休みに省エネ活動を行う「ミッションビンゴ」の実施 ●活動だよりを作成・配布 	令和4年度 補助金申請：○
7	浜甲子園	南甲子園・甲子園浜小学校区	2008年6月	約10名	自治会、町会 青少年愛護協議会 福祉会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●甲子園浜で生きもの観察をする「浜辺の生きもの探し」【中止】 ●しめ縄作り教室【中止】 ●活動だよりの作成【中止】 	令和4年度 補助金申請：-
8	甲陽園	甲陽園小学校区	2009年1月	約10名	青少年愛護協議会 環境衛生協議会 大池管理委員会 コミュニティ協会 甲陽園小学校 自治会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●甲陽園小学校3年生の自然体験学習の支援（大池の生きもの調査） ●元気で食物栽培（小学生の食育活動） ●大池でのもんどりを使った生物調査 ●大池の清掃および植物保全活動 ●大池周辺の樹木への名札の設置 	令和4年度 補助金申請：○
9	高木	高木地区環境衛生協議会エリア	2009年1月	約10名	メンバー検討中	●今後の活動やメンバー等の体制について検討中	令和4年度 補助金申請：-
10	甲子園口	上甲子園小学校区	2009年2月	約20名	コミュニティ協会 環境衛生協議会 社会福祉協議会 青少年愛護協議会 自治会、PTA 公民館活動推進員 甲子園口商店連合会 上甲子園小学校 鳴尾北保育所 瓦木みのり保育所 等	<ul style="list-style-type: none"> ●上甲子園小学校の花植えを支援 ●わがまち探検「伝統文化を学ぼう」講座 ●上甲子園中学校トライやるウィークへの協力 ●青少年愛護協議会と共同で、地域の見守り活動の際に活用するバッグの作成（見守り活動時に着用するベストと同じデザインのバッグとし、啓発に活用） ●甲子園口エココミュニティ会議だよりの発行 	令和4年度 補助金申請：○
11	神原	神原小学校区	2009年2月	約50名	{神原安心の町づくり懇談会} コミュニティ協会 環境衛生協議会 社会福祉協議会 青少年愛護協議会 自治会、PTA 老人会、防犯協会 スポーツクラブ21 自主防災会 民生児童委員 公民館活動推進員 補導委員 等	<ul style="list-style-type: none"> ●「みんなの花だん」の維持管理 ●「くすのき広場」の草刈り【中止】 ●安心の町づくり懇談会としての防災・防犯に関する地域懇談会等の開催【中止】 	令和4年度 補助金申請：○

エココミュニティ会議 活動状況（令和3年度実績②）

令和4年6月末日現在

	地区名	エリア	発足年月	構成人数	構成団体	活動内容	備考
12	鳴尾東	鳴尾東小学校区	2009年7月	約10名	自治会[鳴尾東コミュニティ協議会] 青少年愛護協議会[同上] 子ども会[同上] 地域事業者 花づくりの会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食で発生する野菜屑や落葉を活用した堆肥作り ●堆肥からオリジナル培養土を作り、公園内花壇などで活用 ●鳴尾東小学校へのコンポストの設置協力 ●小学生への園芸指導、支援（入学式の花鉢づくり、クリスマスリースづくりなども実施） 	令和4年度補助金申請：○
13	山口	山口支所管区	2009年9月	約10名	[山口町自治会連合会] 自治会 社会福祉協議会 青少年愛護協議会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●ホタル保護事業（有馬川沿いの見回り）への協力 ※ホタルウォークラリーは中止 ●クリーン大作戦の時期に合わせた有馬川緑道や公園の清掃 ●すみれ台地区の地域清掃事業への協力 ●地域事業「山口さくらまつり」などの協力【中止】 	令和4年度補助金申請：○
14	上ヶ原南	上ヶ原南小学校区	2009年10月	約10名	青少年愛護協議会 環境衛生協議会 民生・児童委員 社会福祉協議会 公民館活動推進員 地球温暖化防止推進員 スポーツクラブ21 青少年補導委員 自治会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●上ヶ原南小学校の児童の体験学習（田植え、稲刈り）への協力 ●上記で使用する田んぼの草取り、清掃などを年間を通して実施 ●Tシャツでつくるエコバック教室【中止】 ●エコクラフト（リース作り）教室の開催 ●上ヶ原幼稚園PTAとの交流および講習会への協力 	令和4年度補助金申請：○
15	用海	用海小学校区	2009年11月	約25名	青少年愛護協議会 環境衛生協議会 防犯協会 社会福祉協議会 婦人会、こども会 老人クラブ スポーツクラブ21 コミュニティ協会 公民館活動推進員 民生・児童委員 等	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍により活動を見送り。 	令和4年度補助金申請：-
16	大社	大社越水会エリア	2009年11月	約15名	自治会 コミュニティ協会 社会福祉協議会 青少年愛護協議会 子ども会、PTA 大社小学校 スポーツクラブ21 民生・児童委員 老人クラブ 等	<ul style="list-style-type: none"> ●落ち葉を使った腐葉土づくりと切り返しの実施 ●広報誌「エココミだより」の作成・配布 ●すみれ台地区の地域清掃事業への支援 ●上記で使用する田んぼへのネットの設置など年間を通して管理 	令和4年度補助金申請：○
17	高須	高須小・高須西小学校区	2010年2月		メンバー検討中	<ul style="list-style-type: none"> ●今後の活動やメンバー等の体制について検討中 	令和4年度補助金申請：-
18	鳴尾西	鳴尾小学校区	2012年1月	約10名	自治会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●地域内の花壇（甲子園ふれあい花壇、本郷中央公園内花壇、武庫川ランブ公園など）の整備 ●MOTTAINAIを合言葉に、各会合でエコな活動や取り組みを実施するよう呼びかけを実施 	令和4年度補助金申請：○
19	今津	今津連合福祉会エリア	2012年9月	約15名	環境衛生協議会 自治会 社会福祉協議会 青少年愛護協議会 婦人会、PTA 地域事業者 等	<ul style="list-style-type: none"> ●通学路の花壇の花植え活動【中止】 ●今津浜の清掃を実施【中止】 ●町歩きおよび講演会【中止】 	令和4年度補助金申請：○
20	西宮浜	西宮浜中学校エリア	2014年7月	約10名	[西宮マリナパークシティ協議会 環境部会] 青少年愛護協議会 西宮浜をきれいにする会 自治会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月の定期的なまち中や沿岸部での清掃活動を実施 年間で、燃やすゴミ215袋（70ℓ等）、燃やさないゴミ13袋（45ℓ等）を回収。 	令和4年度補助金申請：○
21	北六甲台	北六甲台小学校エリア	2015年2月	約10名	自治会 青少年愛護協議会 スポーツクラブ21 老人会、婦人会 等	<ul style="list-style-type: none"> ●春・夏・冬休み期間に開催される地域の映画教室で、環境問題に関する講演や展示【中止】。 ●夏と冬の地域ぐるみのフリーマーケット（リユースの取り組み）【中止】 ●きたろく里山音楽祭において、生物多様性などの問題についての展示【中止】 	令和4年度補助金申請：○